

令和5年度 山梨県立甲府第一高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標 経営方針	文化の香りがする様が深い進学校	甲府第一高等学校校長 安達 徹
<p>本年度の 重点目標</p> <p>1 おもい私:主体的に学ぶ生徒 知識を創造するために活用する生徒 考えを表現する生徒 山梨県学校教育指導重点 「豊かな学力の育成」</p> <p>2 たくし私:力(体力/耐力)のある生徒 考えのない課題にひるまない生徒 進徳心のある生徒 山梨県学校教育指導重点 「豊かな心の育成」 「健やかな体の育成」</p> <p>3 やわらか私:複数の視点を持った生徒 -他者と協働できる生徒 -状況に適して自己変容できる生徒 山梨県学校教育指導重点 「地域や世界で活躍できる人材の育成」</p> <p>4 働き方改革:教員の働き方改革の推進</p>	<p>自己評価</p> <p>年度末評価(令和6年2月2日現在)</p> <p>達成度</p> <p>A ほぼ達成できた。(8割以上)</p> <p>B 概ね達成できた。(6割以上)</p> <p>C 不十分である。(4割以上)</p> <p>D 達成できなかった。(4割以下)</p>	<p>4 良くできている。</p> <p>3 できている。</p> <p>2 あまりできていない。</p> <p>1 できていない。</p>
<p>本年度の重点目標</p> <p>各分野における取組</p>	<p>自己評価</p> <p>年度末評価(令和6年2月2日現在)</p> <p>達成度</p> <p>A ほぼ達成できた。(8割以上)</p> <p>B 概ね達成できた。(6割以上)</p> <p>C 不十分である。(4割以上)</p> <p>D 達成できなかった。(4割以下)</p>	<p>学校関係者評価</p> <p>実施日(令和6年2月19日)</p> <p>評価</p> <p>意見・要望等</p>
<p>1 相互授業参観の推進</p> <p>【教育】相互授業参観や教科指導等主動的活用して授業改善を推進する。</p> <p>【教務】授業参観の積極的な実施</p> <p>【各教科】3観点による評価計画、評価指導を作成し、生徒の実態に合わせて改善する。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びの実現</p> <p>【教材】教材や学習内容を精選し、探究活動や主体的・対話的で深い学びを推進し、その評価方法をあわせて研究する。</p> <p>【保健指針】感染症予防や食生活指導、健康意識の醸成等を通じて、健康の保持増進と感染症予防対策に主体的に取り組む生徒を育てる。</p> <p>【生徒会】生徒が主体的に取り組むことを通じて、自立心の育成に努める。</p> <p>【保健指針】身体的な課題解決や食生活指導を大切にする。異文化理解と国際交流の推進する。</p> <p>【学習研究】各教科の観点別学習状況の評価と授業改善を推進する手立てを検討し、授業改善を推進する。</p> <p>④授業における活用の取組を共有し、授業における効果的な活用を推進する。</p> <p>④授業との関連を図った学習の推進(看護課程、学習会、模擬試験の実施)</p> <p>【教育】授業を最大限に活用して学習意欲の向上を図る。</p> <p>【各教科】1年次の共通課題(学習)や学習目標(目標)は(Classy)や土曜学習、課外の意義的(伝)伝に伝が、効果的に活用する。</p> <p>【探究指針】探究指針と連携して探究科夏季学習会を実施し、学力向上を目指す。表出に向けて取り組むことに取り組むことを要する。</p> <p>⑤学習会・図書館の活用</p> <p>【学習研究】生徒・職員が図書館を利用できる環境を整えらるとともに、図書委員会の活性化を図る。</p>	<p>【教育】3観点別評価について、学校全体で評価方法について検討する場を設けた(学校担当指導主事助成員に教育課程研究委員会、各教科・科目ごとの評価の工夫を、全体で共有実施していき、教科指針において、主体的・対話的で深い学びを意識し、教育活動に工夫改善を行っていただいていることと関係する(92%)。</p> <p>【保健指針】学校生活を一層充実させるために各自の役割を認識し、仲間と協力して自発的に環境美化・清潔活動を行っている生徒が多い。(89%)</p> <p>【保健指針】生徒が日々の健康観察を行うことで、健康の保持増進に主体的に取り組むことにつながり、健康よく発信される保健隊よりや講演会等を通して、感染症に関する知識を得て、感染防止対策が実施できた。</p> <p>【生徒会】制服検査委員会の参画など、全校生徒が快適に生活できるように努力する姿勢が見られた。</p> <p>【探究指針】夏季学習会を4日間実施し、3学年が同じ会場で行って学習することで、刺激し合う効果もあり、長時間集中して学習に取り組む力の育成は、概ね達成できた。</p> <p>【探究指針】積極的に実地調査やアンケート活動を実施し、地域の大人と関わり、主体的に探究活動に取り組んでいる。また、プレゼン活動も積極的であった。</p> <p>【学習研究】教育課程全体研究委員会では教科・科目ごとの評価を推進して、実際の課題について全職員で共有し、教科指針的に研究協議する場を設けて授業改善の推進へつなげた。</p> <p>【進路】進路講演会は学年ごとその時期に見合った内容を提示した。生徒は学習方法や進路選択に向けての情報を積極的に得ようとする姿勢が見られた。DRPへの関心も高かった。</p> <p>【1学年】学習記録帳などを活用して学習意欲の向上を促し、学習習慣の定着を図った。総合的な探究の時間やグローバル探究を通して、知識を深め、プレゼンテーション能力を高めた。</p> <p>【2学年】自分で計画してやるべきことを見つけていく意識に加え、自身の弱み克服に関しても取り組む生徒が多くなってきている。Classy入力による学習の「見える化」が大きな体勢となっている。</p> <p>【3学年】受験生となり、秋以降は放課後教室や自習室に降り自主的に学習する生徒が目立ってきた。目標を持ち、主体的に学習に取り組んでいる生徒が増えた。</p>	<p>【教育】教職員アンケートでは、教育課程の編成については88%の高評価を得ていたが、3観点評価については78%に留まっている。今後、効果的な評価の仕方について工夫できるようにしていきたい。保護者をはじめ、様々な教育者が持てる育育の力を再確認し、生徒への負担の大きさ、教員の業務量などのバランスも考え、教育課程の工夫・改善に努めたい。</p> <p>【生活指針】生徒の健康意識の向上については前年度より2%ポイント下げているので、この意識を取り組みに充てたい。</p> <p>【保健指針】健康観察の入りや記入を行う上で、学年との共通理解と生徒への指導の徹底が必要。継続的に健康指導を徹底させる必要がある。</p> <p>【生徒会】話し合いを通じた企画運営がなされているという評価は前期と比較して向上している。生徒自治という観点で多くの生徒が納得する運営ができるようにしていきたい。</p> <p>【探究指針】部活動の夏季大会、大学のオープンスクールや公開講座、探究活動等と日程が重なる生徒が多く、空席も目立った。生徒の自主的な活動の時間確保の視点から、実習・体験・研修も充実させたい。</p> <p>【探究指針】探究指針の活用が必須であるが、必要に応じて環境構築を念頭に置きながら、研修資料の環境整備と利便性の高い図書館運営、図書委員会の活性化を図りたい。</p> <p>【学習研究】授業参観の活用が今年何が必要であるか自ら考えることができて、学習習慣の定着や課題の意識を高めようという姿勢が見られた。</p> <p>【1学年】JRDの活用、生徒自身が学習習慣を身につけることにより、学習習慣の定着につながっている。成績の向上も期待している。</p> <p>【2学年】精神面での自律に向けて家庭の支援は必要不可欠であることを前提とし、生徒が抱えている課題の解決に向けて、担任の日常の業務に加え、家庭と連携して課題の解決に取り組むことが、主体的に学習に取り組む生徒の増加につながった。</p> <p>【3学年】自主的に学習に取り組むのが、主体的に学習に取り組む生徒の増加につながった。部活動引継ぎ、夏休み前には教室に残り学習する雰囲気作りができていた。</p>
<p>1 キャリアデザインの探究</p> <p>【進路指針】キャリアデザインプラン(DRP)進路調査及び「総合的な探究の時間」を通してキャリアデザインを探究させる。併せてキャリアパスポートの活用を推進する。</p> <p>【学習研究】生徒の実態に応じてプログラムを個別に計画し、それぞれのプログラムの意義を生徒に伝え理解させ、積極的に取り組ませる。</p> <p>②主体的な思考力・判断力の涵養</p> <p>【教育指針】生徒へ進行速度の意義や安全に対する啓蒙活動に努める。</p> <p>【協力者の確保】打合せ及び関係機関との連絡調整を行い、安全対策を図る。</p> <p>③主体的な思考力・判断力の涵養</p> <p>【教育指針】文系、理系を問わず、様々な探究活動を通して、物事を筋立てて考える思考力を養成する。同時に、各々のテーマに沿ってプレゼンテーション能力が鍛えられる。</p> <p>【探究指針】グローバル・E・I・J・IJ及びグローバル公共を通して、グローバルな視点と向き合い、課題発見力や論理的思考力、創造力、コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【学習研究】探究の手帳としての新書読書や先行研究論文精読により論理的な思考力を醸成し、教科指針的に活用できる応用力の育成を目指す。</p>	<p>【教育】3観点別評価について、学校全体で評価方法について検討する場を設けた(学校担当指導主事助成員に教育課程研究委員会、各教科・科目ごとの評価の工夫を、全体で共有実施していき、教科指針において、主体的・対話的で深い学びを意識し、教育活動に工夫改善を行っていただいていることと関係する(92%)。</p> <p>【保健指針】学校生活を一層充実させるために各自の役割を認識し、仲間と協力して自発的に環境美化・清潔活動を行っている生徒が多い。(89%)</p> <p>【保健指針】生徒が日々の健康観察を行うことで、健康の保持増進に主体的に取り組むことにつながり、健康よく発信される保健隊よりや講演会等を通して、感染症に関する知識を得て、感染防止対策が実施できた。</p> <p>【生徒会】制服検査委員会の参画など、全校生徒が快適に生活できるように努力する姿勢が見られた。</p> <p>【探究指針】夏季学習会を4日間実施し、3学年が同じ会場で行って学習することで、刺激し合う効果もあり、長時間集中して学習に取り組む力の育成は、概ね達成できた。</p> <p>【探究指針】積極的に実地調査やアンケート活動を実施し、地域の大人と関わり、主体的に探究活動に取り組んでいる。また、プレゼン活動も積極的であった。</p> <p>【学習研究】教育課程全体研究委員会では教科・科目ごとの評価を推進して、実際の課題について全職員で共有し、教科指針的に研究協議する場を設けて授業改善の推進へつなげた。</p> <p>【進路】進路講演会は学年ごとその時期に見合った内容を提示した。生徒は学習方法や進路選択に向けての情報を積極的に得ようとする姿勢が見られた。DRPへの関心も高かった。</p> <p>【1学年】学習記録帳などを活用して学習意欲の向上を促し、学習習慣の定着を図った。総合的な探究の時間やグローバル探究を通して、知識を深め、プレゼンテーション能力を高めた。</p> <p>【2学年】自分で計画してやるべきことを見つけていく意識に加え、自身の弱み克服に関しても取り組む生徒が多くなってきている。Classy入力による学習の「見える化」が大きな体勢となっている。</p> <p>【3学年】受験生となり、秋以降は放課後教室や自習室に降り自主的に学習する生徒が目立ってきた。目標を持ち、主体的に学習に取り組んでいる生徒が増えた。</p>	<p>【進路指針】学年と連携し、Classへの入力の働きかけを共有し理解を持って進めていきたい。継続することが習慣化につながり、実力向上につながることを有効に活用していきたい。</p> <p>【探究指針】探究指針の活用が必須であるが、必要に応じて環境構築を念頭に置きながら、研修資料の環境整備と利便性の高い図書館運営、図書委員会の活性化を図りたい。</p> <p>【学習研究】授業参観の活用が今年何が必要であるか自ら考えることができて、学習習慣の定着や課題の意識を高めようという姿勢が見られた。</p> <p>【1学年】JRDの活用、生徒自身が学習習慣を身につけることにより、学習習慣の定着につながっている。成績の向上も期待している。</p> <p>【2学年】精神面での自律に向けて家庭の支援は必要不可欠であることを前提とし、生徒が抱えている課題の解決に向けて、担任の日常の業務に加え、家庭と連携して課題の解決に取り組むことが、主体的に学習に取り組む生徒の増加につながった。</p> <p>【3学年】自主的に学習に取り組むのが、主体的に学習に取り組む生徒の増加につながった。部活動引継ぎ、夏休み前には教室に残り学習する雰囲気作りができていた。</p>
<p>1 ①いじめ防止に向けた取組の推進</p> <p>【生活指針】いじめ実態調査等の実施による、いじめの早期発見・対応に努める。</p> <p>【LHR等】利用して、多様な価値観を認識する心育活動に努める。特に、SNSを含めたいじめの予防教育に積極的に取り組む。</p> <p>②キャリア開発の推進</p> <p>【進路指針】DRPへの積極的な参画を促し、職業意識を高める。</p> <p>③キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>④キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>⑤キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p>	<p>【生活指針】いじめ実態調査等の実施による、いじめの早期発見・対応に努める。</p> <p>【LHR等】利用して、多様な価値観を認識する心育活動に努める。特に、SNSを含めたいじめの予防教育に積極的に取り組む。</p> <p>②キャリア開発の推進</p> <p>【進路指針】DRPへの積極的な参画を促し、職業意識を高める。</p> <p>③キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>④キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>⑤キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p>	<p>【生活指針】いじめ実態調査等の実施による、いじめの早期発見・対応に努める。</p> <p>【LHR等】利用して、多様な価値観を認識する心育活動に努める。特に、SNSを含めたいじめの予防教育に積極的に取り組む。</p> <p>②キャリア開発の推進</p> <p>【進路指針】DRPへの積極的な参画を促し、職業意識を高める。</p> <p>③キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>④キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>⑤キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p>
<p>【教育】コロナ前に近い教育活動が戻ってきた中で、来年度に向けて行事の見直し・精選、機会均等の確保を図っていく。来年度3月について、成績処理の時間を確保できるように授業参観等も検討する。</p> <p>【進路指針】引き続き資源と業務の効率化に努める。進路の各業務の必要性や重要性を再検討し、業務の効率化をはかっていく。来年度は、土曜学習の実施回数減らし、模擬試験の新設を積極的に行うことを要する。</p> <p>【保健指針】生徒及び生徒を取り巻く環境が多様化するなか、カウンセラーや外部機関と連携し、関係職員との協力体制により、特別支援体制をより強固に確立することが必要である。</p> <p>【生徒会】特に一高祭前には遅くも残るなければならない、長い時間外勤務になってしまった。</p> <p>【教育指針】進行速度やオープンスクールなど特に大きな行事では業務の効率化の重要性を感じている。また、分掌内や他分掌との業務内容の調整も必要である。</p> <p>【探究指針】学習内容で企画・運営しなければならない行事等もあり、負担の軽減が難しい。</p> <p>【探究指針】来年度の新しい事業に取り組むにあたり、さらに効率化を図る必要がある。</p> <p>【教育指針】事前に分掌・係業務を明確化し、全職員体制にて準備作業を展開する。</p> <p>【1学年】授業プリントやアンケートのデジタル化によって負担が減ったところもあるが、かえって負担が増えたところもある。精選して実施していきたいと考える。こだわりを持つこととどうのバランスが教員には大事だと思う。</p>	<p>【教育】3観点別評価について、学校全体で評価方法について検討する場を設けた(学校担当指導主事助成員に教育課程研究委員会、各教科・科目ごとの評価の工夫を、全体で共有実施していき、教科指針において、主体的・対話的で深い学びを意識し、教育活動に工夫改善を行っていただいていることと関係する(92%)。</p> <p>【保健指針】学校生活を一層充実させるために各自の役割を認識し、仲間と協力して自発的に環境美化・清潔活動を行っている生徒が多い。(89%)</p> <p>【保健指針】生徒が日々の健康観察を行うことで、健康の保持増進に主体的に取り組むことにつながり、健康よく発信される保健隊よりや講演会等を通して、感染症に関する知識を得て、感染防止対策が実施できた。</p> <p>【生徒会】制服検査委員会の参画など、全校生徒が快適に生活できるように努力する姿勢が見られた。</p> <p>【探究指針】夏季学習会を4日間実施し、3学年が同じ会場で行って学習することで、刺激し合う効果もあり、長時間集中して学習に取り組む力の育成は、概ね達成できた。</p> <p>【探究指針】積極的に実地調査やアンケート活動を実施し、地域の大人と関わり、主体的に探究活動に取り組んでいる。また、プレゼン活動も積極的であった。</p> <p>【学習研究】教育課程全体研究委員会では教科・科目ごとの評価を推進して、実際の課題について全職員で共有し、教科指針的に研究協議する場を設けて授業改善の推進へつなげた。</p> <p>【進路】進路講演会は学年ごとその時期に見合った内容を提示した。生徒は学習方法や進路選択に向けての情報を積極的に得ようとする姿勢が見られた。DRPへの関心も高かった。</p> <p>【1学年】学習記録帳などを活用して学習意欲の向上を促し、学習習慣の定着を図った。総合的な探究の時間やグローバル探究を通して、知識を深め、プレゼンテーション能力を高めた。</p> <p>【2学年】自分で計画してやるべきことを見つけていく意識に加え、自身の弱み克服に関しても取り組む生徒が多くなってきている。Classy入力による学習の「見える化」が大きな体勢となっている。</p> <p>【3学年】受験生となり、秋以降は放課後教室や自習室に降り自主的に学習する生徒が目立ってきた。目標を持ち、主体的に学習に取り組んでいる生徒が増えた。</p>	<p>【生活指針】いじめ実態調査等の実施による、いじめの早期発見・対応に努める。</p> <p>【LHR等】利用して、多様な価値観を認識する心育活動に努める。特に、SNSを含めたいじめの予防教育に積極的に取り組む。</p> <p>②キャリア開発の推進</p> <p>【進路指針】DRPへの積極的な参画を促し、職業意識を高める。</p> <p>③キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>④キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p> <p>⑤キャリア意識の醸成</p> <p>【教育指針】キャリアパスポート等を活用して生徒のキャリア発達を促す。</p>